

2016.8.19

## JINS 初のコンセプトショップ「JINS 京都寺町通店」8/20 (土) オープン

建築家中村竜治氏が設計。店舗コンセプトは“変わるものと変わらないもの”

株式会社ジェイアイエヌ（東京本社：東京都千代田区、代表取締役社長：田中仁）は、2016年8月20日（土）に、アイウェアブランド「JINS（ジンズ）」初となるコンセプトショップ「JINS 京都寺町通店」をオープンいたします。



### JINS 初となるコンセプトショップを京都寺町通にオープン

JINS 初のコンセプトショップをオープンする寺町京極商店街の歴史は、平安京の頃にまで遡ります。時は平安京、寺町通は都の最東の通りで、「東京極大路」と呼ばれる道幅 32 メートルの大路でした。応仁の乱で荒廃したこの通りを天正 18 年（1590 年）に豊臣秀吉が再興。秀吉はここに寺院を集め、通りの名も「寺町通」と改め、一大寺院街を造営しました。その後、江戸時代には書物や数珠、文庫、筆、薬などを商う商人や、紙や三味線などの職人たちがこの道沿いに住み、現代の商店街の原形が完成。明治・大正・昭和を経て、寺町通はいつも、古くて新しい魅力的な通りであり続けています。

### コンセプトは「変わるものと変わらないもの」

JINS はこの寺町通に店舗をオープンするにあたって、建築家中村竜治氏に設計を依頼。京都古来の長屋文化を JINS ならではの解釈で表現した新しい店舗が完成いたしました。店舗のコンセプトは、「変わるものと変わらないもの」。外観は残し内部を作り変えながら存続していく長屋からのインスピレーションをもとに、オープンした後も大切なもの（骨子）を残しながらリニューアルを繰り返していけるような店舗となっています。店舗内には、コンクリートで仕切られた 2 つの空間が存在。それぞれの空間の中央に設置された巨大なオリジナル什器には、様々なアイウェアが並びます。2 つの空間は、母屋と離れをイメージして設計されており、その外を囲う坪庭にあたる空間には、検眼スペースや待合室が設けられています。今後、店舗の母屋と離れにあたる空間を軸に、店舗の使い方を変えていくことができるよう設計されており、コンセプトである「変わるものと変わらないもの」を体現しています。さらに TAKAIYAMA inc. の山野英之氏が手がけた、京都のモチーフを織りまぜたグラフィカルなイメージを店舗内外に配置。コンクリート造りの静寂感のある空間に彩りを加えます。歴史ある京都の街に現代的な要素が融合されたことで、道行く人が思わず足を止めるような店舗となっています。

### JAPAN (日本) を体現した店舗設計

また、この店舗は、海外から見た「JAPAN (日本)」を体現した造りとなっています。日本ならではの、「和」には、シンプルでありながらそこに“見立てる”手法と感覚が存在します。日本の寺院などによく用いられる「借景」という技法を使用することで、壁越しや鏡越しに見える背景が一体感を演出しています。その他にも、JAPAN を体現する丸いくぼみが用いられたオリジナル什器は、光と影が映える削りだしたようなテクスチャが特徴です。商品の佇まいが美しくあるよう、溝の深さや幅まで緻密に計算されています。JINS はこのコンセプトショップをきっかけに、更にお客様に心地よい購買体験や新しい価値を提案できる空間づくりを目指していきます。

## 店舗概要

【店舗名】	JINS 京都寺町通店
【オープン日】	2016年8月20日(土)
【営業時間】	11:00-20:00
【所在地】	京都府京都市中京区寺町通三条下る桜之町 406 番 4 第二寺町六角ビル1階
【店舗電話番号】	075-254-7661
【展開本数】	960本
【店舗面積】	48坪

## 店舗特徴

コンセプトである「変わるものと変わらないもの」を店舗内外の随所で表現した店舗デザイン

### ■店舗外観



店舗内には、2つの空間（母屋と離れ）が存在。コンクリートの静寂感のある空間に、TAKAIYAMA inc.の山野英之氏がデザインした京都のモチーフを織り混ぜたポップなグラフィックが店内を彩る。

### ■店舗内観



JAPANを体現する丸いくぼみが用いられた専用の什器。商品の佇まいが美しくあるよう、溝の深さや幅まで綿密に計算。



日本の寺院などに用いられる「借景」という技法を使用することで、壁越しや鏡越しに見える背景が一体感を演出。



空間が広がっていくように、各所に○や△の鏡を設置。グラフィックが鏡に映りこんで裏側が見えるような設計に。



店内の坪庭にあたる測定スペースやレジ周りにも遊び心が。随所にアートデザインが用いられ、見る人を楽しませる。

## 建築家「中村竜治 (なかむらりゅうじ)」



1972年長野県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了後、青木淳建築計画事務所を経て、2004年に中村竜治建築設計事務所を設立。主な仕事に、空気のような舞台(新国立劇場オペラ「ル・グラン・マカーブル」舞台美術)、とうもろこし畑(東京国立近代美術館「建築はどこにあるの?7つのインスタレーション」)、梁(東京オペラシティ・アート・ギャラリー「感じる服考える服:東京ファッションの現在形」会場構成)など。主な受賞に、グッドデザイン賞、JCDデザインアワード大賞、THE GREAT INDOORS AWARD(オランダ)。著書に『コントロールされた線とされない線』(LIXIL出版)。